

第5章 人事評価システムのモデル例

1 人事評価モデルに係る考え方

現段階における地方公共団体の人事評価に関する取組は、一部の先進的な都道府県・指定都市等と未だ何らの具体的な検討も行っていない団体とに大きく分かれている状況にある。

そこで、この章においては、前章で行った人事評価システムの導入に当たっての各論点の整理を踏まえて、未だ人事評価の導入が大幅に遅れている市町村が初めて同システムを導入する際の一つの参考となるべく、本研究部会として複数のモデル例を提案することとした。

もとより、一概に市町村といっても一様ではなく、団体の規模、財政力、組織風土、そして首長の姿勢などによっても組織のあり様は大きく異なってくるものであり、各団体がそれぞれの実情に合った制度を構築していくのが本来の姿である。またこのモデル例自体100%完成したものではなく導入に当たってのあくまで参考例であり、そのまま導入されることを意図したものではない。

したがって、各団体においては、このモデル例を一つの参考とし、どのような人材を育成し、どのように評価結果を活用していくのかも含め議論を積み重ねることにより、まずは簡素でも各団体の特性を踏まえたオリジナルなシステム設計に取り組み、試行をしていただきたい。その上で問題点を抽出し、改善を加え、よりよい制度へと着実に進めていただければと考える。